

日本株は急落で下値を切り下げる展開

日経平均株価は3月9日の場中安値を割り込み下値模索

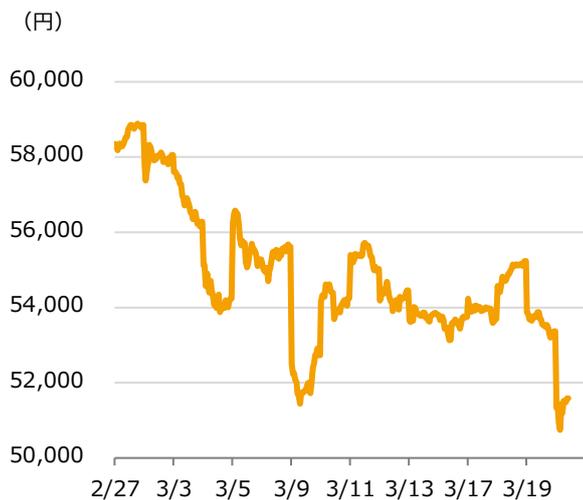
2026年3月23日

紛争長期化リスクにより経済・業績への懸念が強まる

中東情勢の悪化を受け、日本株は値動きの荒い展開が続いています。2月末に最高値を更新していた日経平均株価は、3月9日場中に51,407円まで急落した後に反発し、18日には55,000円台を回復していましたが、連休前の19日に3.4%下落したのに続き、23日前場も3.4%の大幅続落となっています。連休中、トランプ米大統領はイランがホルムズ海峡を開放しなければ発電所を壊滅させると警告した一方、イランは発電所が攻撃を受けた場合にはホルムズ海峡を完全封鎖すると表明しました。米軍が限定的な地上戦に踏み切る可能性も浮上しており、紛争の泥沼化と原油価格高騰の長期化への懸念が強まっています。

先週は米国連邦準備制度理事会、欧州中央銀行、イングランド銀行、日本銀行など主要中央銀行の金融政策決定会合が相次いで開催されました。いずれも政策金利を据え置きましたが、原油高による景気下押し圧力が意識される中で、市場の織り込みはよりタカ派的にシフトしており、リスク資産にとって逆風となっています。これらの懸念を反映し、連休明け23日前場の日経平均株価の安値は50,688円となり、9日安値を下回って下値を切り下げています。今月に入ってから日経平均株価は調整色を強めていますが、そのバリュエーション水準は依然として高く、状況が一段と悪化すれば、株価はさらに下落する余地が残されています。一方で、米政権が停戦に向けた動きを水面下で始めた可能性があるとの報道もあります。引き続き短期的なリスクは上下両方向にあり、中東情勢に振られて値動きの荒い展開が続くと思われます。

日経平均株価



※直近値は2026年3月23日 11:30

(出所) ブルームバーグ

北海ブレント原油



※直近値は2026年3月23日 11:30

(出所) ブルームバーグ

当資料のお取り扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management